

地場企業の奮起を

有田 農業あるいは第一次産業を中心に
お話を伺いましたけれども、やはり一方
ではさきほど知事さんが言われたように
第二次産業、および第三次産業を中心に
徐々に浮揚している段階であると私は思
うのです。これは一体どうい方向に行
ってほしいのか、藤井さんいかがでしょ
うか。



▲他県資本に対抗して

したように日立造船もいよいよ動きだ
しますし、またそれでも列島改造論
にのりまして本場にいろんな工場が潮
ごとく押し寄せてくる。そういうもの
に対してわれわれ地元経済人はどう対応
するか、また県市ご当局におきましては、
後発の利益という何ですけれども折角
恵まれた自然が残っているわけですから
これにどう対応されるか、そういう問題
がひとつあると思います。それと日本経
済全体の動きからしましていわゆる産業
構造が変化しつつあるわけですね。従来

は製造業万能といいますが、物をつくる
製造業というのが脚光を浴びておりまし
たけれども、昨今では製造業でなくて、
むしろ流通業であるとか、あるいは大型
レジャー産業であるとか、あるいは知識
産業、情報関連産業というものが脚光を
浴びつつあります。又そういう新しい
産業が展開する地域としましてはこの熊
本県あたり非常に大手からも見直されて
おる。そういうった動きが本場に顕著に現
われつつあるなかでわれわれ地元経済人
はどう対応すべきか。常にこの開発のう
ま味は他県資本に取られるということ
でなくて、やはりわれわれ、地元経済人が
この開発の利益にもささがるべきではな
いか、そういう問題意識をもっているわ
けです。

杉本 それは是非奮発してもらいたい
ですね。覚悟を決めて…

有田 そこでその成長と自然環境の保持
という矛盾対応したものがあられるわけ
でございますけれども、このへんについて、
知事さんから…

知事 おっしゃるとおり、これからの地
域開発、産業振興というものはさきほど
申し上げましたが、経済一本ヤリという
ことではなしに、地域の住民生活との調和
ということが、第一の課題であるべきだ
という認識にたっております。したが

まして、いやしくも
乱開発にならないよ
うにあるいは県外資
本の収奪に終わらな
いようにやはりそれ
に対応する受け入れ
態勢、あるいは、対
策というものをよほ
ど慎重に県政の段
階でも講じていかな
ければならないと思
っております。

有田 県の中核部は
今いわれましたよう
に、いろんな新しい
交通体系によってだ
んだん浮揚してきま
すけれども、周辺部
はどうしても過疎地
帯になりますので、
これが今後のひとつ
の大きな問題点になるのではなからうか
と思います。私はかねがね恐らくその周
辺部は第三次産業のレジャー産業におき
変えられてくるのではないかという感じ
をもっておりますけれども、いかがでし
よう知事さん…



▲交通網の整備につれて競争も激化… (熊本インター)

知事 いい意味での開発が進められるこ
とは結構だと思えますけれども後で悔が
残らないような進め方をしなければいけ
ないということではないでしょうか。
有田 出来ればそういうふうなものを

含めて県政の調和、計画的な開発とい
うものをご教示いただけたいと思いま
す…

知事 例えば土地の利用計画ひとつにし
まして、なかなかむずかしい問題はご
ざいますけれども、むずかしいからとい
って手をこまねいておったんではいけ
ないという感じがいたしております。

有田 そうですね。
杉本 関連しますけれども農業も単純に
農業だけを考へてはいかんのではないか

したがって観光農業ということと、更に
地域開発ということについては、やはり
一定の計画にもつづいた県の方針に沿っ

美しい熊本づくり

精神的にも美しい県民に

有田 いろんなご意見がありましたけれ
ども結局いかに調和のある開発をやるか
というところに焦点が向けられると思いま
す。いま熊本県のスローガンとして「美
しい熊本づくり」という言葉があります
けれども、この意味についていろいろ知
事さんからお話を伺って主旨をお教えい
ただきたいと思えます。



▲調和のある開発が…

知事 自然保護というものが非常に大事
である、またお互い自分達が住んでおる
環境を美しいものにし、思い出の多い自
分達の郷土をいつまでも住みよいものに
しておきたい。これは県民の皆さんがた
の全部の人達が賛成していただけるテー
マであると考えたものですから昨年

て、農協も地域開発に大いに協力しよう
ということ、美しい熊本づくりに実
われわれも協力したいと思っております。

その推進をはかっておるわけなんです
が一朝一夕でなかなかこれが末端まで定着
をし、見ちがえるようになるというこ
は考えておりません。今後各種団体、
特にご婦人の皆さんがたを中心に県民全
部のかたがたのご理解とご協力をお願い
したいと思っております。

佐藤 大変よいことを知事さんお始め
いただいたと思っております。



▲精神的にも美しく…

結局環境が人を造ると思えますけれど
も、精神的にも美しい熊本県人になっ
てほしいと思えます。そういう意味で環
境も美しく心も美しい人になってほしい
と思えます。私、立田山が近くですから、
散歩によく出かけますけれどもこの頃

供さん連れのご家族がお天気のよい日に
登っていらつしやる姿を見かけます。気
楽に今日はお天気がよいから家族そろっ
て出かけようというふうな自然をうんと
つくっていただきたいと思えます。それ
が体力づくりにもつながっていく。それ
で環境も美しくなるということ、これは
大いにお願したいと思えます。

知事 皆さんご承知とは思いますが、私
は就任以来県民の皆さん
方との対話ということ
基本姿勢として申しあげ
てきましたのですが、や
はりただ皆さん方と話し
合いをするというだけで
は時代についていけない
のではないかと、やはり皆
さん方の理解と協力なしに
は県政というものはうま
くころがっていかない、
そういうことをしみじみ
感ずるわけです。それで
ひとつのテーマとして、
皆さん方の合意が得られ
るものとして郷土を美し
くしようという運動を提
唱いたしておるわけなん
ですがね。
杉本 今の熊本を美しく
するとう場合には当然
お考えと思えますけれど
も農村環境の問題も是非



▲自然に親しむグループや家族連れのハイカーがふえている (金峰山登山口)